



あつま

6月定例会号

No. 160

平成27年7月発行

議会だより



田舎まつりパレード
初参加の厚幌ダム
関連企業の皆さん

第3回臨時会「新しい議会構成」決定	2
6月定例会、厚南地区認定こども園関係工事契約締結事項	3
一般質問 井上次男・森田正樹・伊藤富志夫・高田芳和・吉岡茂樹 下司義之、新人議員を含む6人が登壇	4～9
安全保障関連法案の徹底審議と国民の合意なしに成立させないよう 求める意見書案を否決	10
北海道町村議会議員研修会	11
町内行政視察報告	12
議決案件（賛否状況）	13
臨時会（補正予算）、議会のうごき、あとがき	14

第3回臨時会 「新しい議会構成」決定



監査委員
吉岡 茂樹



副議長
木戸 嘉則



議長
渡部 孝樹

4月26日厚真町議会議員選挙において、新たに11名の議員が町民の負託を受けました。5月8日の臨時会で議会の構成が決められましたので、ご紹介をいたします。

産業建設常任委員会



三國 和江



○高田 芳和



◎大捕 孝吉

総務文教常任委員会



木戸 嘉則



○森田 正樹



◎木本 清登



伊藤富志夫



吉岡 茂樹



井上 次男



下司 義之

◎委員長 ○副委員長

*土地開発公社理事
三國和江

*都市計画審議会委員
大捕孝吉・高田芳和

*民生委員推薦委員
木本清登

*胆振東部西部日高衛生組合
大捕孝吉・森田正樹

*安平・厚真行政事務組合
吉岡茂樹・伊藤富志夫

*胆振東部消防組合
井上次男・高田芳和

◎ 井上次男
○ 伊藤富志夫
高田芳和
森田正樹
吉岡茂樹
三國和江

※議会広報特別委員会

◎ 三國和江
○ 木本清登
木戸嘉則
大捕孝吉
井上次男

※議会運営委員会

6月定例会

6月11日定例会が開催される。一般質問6人、議案12件、承認1件、報告5件が付議された。意見書案1件、休会中の議員研修の派遣、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会の事務調査等が報告されました。

議案第1号～第4号 請負契約の締結

厚南地区認定こども園(建設・電気・機械設備造成工事)・児童会館造成工事

工 事 名	契 約 金 額	契 約 の 相 手 方
建 設 工 事	3億 9420 万円	盛興・木本特定建設工事共同企業体
電 気 設 備	7376 万円	厚信・三國・小寺経常建設共同企業体
機 械 設 備	6545 万円	国策・矢部経常建設共同企業体
造 成 工 事	5508 万円	木本・今多経常建設共同企業体
4 事業合計	5億 8849 万円	

議案第5号 請負契約の締結

町道新町フォーラム線道路改良工事(軟弱地盤改良)

契約金額	8510 万円
契約の相手方	丸斗・丸博野沢経常建設共同企業体

議案第6号 請負契約の締結

厚真中学校・厚南中学校屋体天井改修工事

契約金額	6394 万円
契約の相手方	株式会社矢部建設

議案第7号 請負契約の締結

富里地区沈砂池建設工事

契約金額	2億 7432 万円
契約の相手方	新栄・木本・厚信特定建設工事共同企業体

議案第10号

補 正 予 算

農地耕作条件改善事業

「農地集積加速化を図る」

水路変更なし10a、10万円

水路変更あり10a、20万円

暗渠排水(吸水管間隔10m)10a、15万円、暗渠整備50ha

国庫補助金(全額国庫負担)

7515万円

地域おこし企業人交流プログラム

△社会貢献マイナンド：人材育成・

キャリアアップ

派遣元企業、ワタミグループ

財政措置、受け入れ経費35

0万円/人・発案等事業の経費、

100万円

簡素な給付措置事業(臨時福祉給付金の支給)

目的 消費税率の引き上げに際し、低所得者への影響を緩和するため実施する。

支給対象者 市町村民税(均等割)が課税されていない者。均等割課税がされている者の扶養親族等、生活保護の被保護者等を除く。

給付額 対象者一人につき6000円

事業期間 平成27年8月1日～平成28年1月30日

事務事業 377万円 措置事業 600万円

財源内訳 国庫支出金(全額国庫負担) 977万円

子育て世帯臨時特例給付事業

目的 消費税率の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の支えを図る観点から、臨時的な給付措置を実施する。

支給対象者 平成27年6月分の児童手当の受給者であつて、その平成26年の所得が児童手当の所得制限額に満たないもの。

対象児童 平成27年6月分の児童手当の対象となる児童

一、平成27年5月31日(以下、基準日という)に生まれた児童も対象に含める。

二、基準日より後に生まれた児童は対象外。

給付額 対象児童一人につき3000円

事業期間 平成27年6月1日～平成28年1月30日

事務事業 57万円 給付事業 159万円

財源内訳 国庫支出金(全額国庫負担) 216万円

一般質問 ここが聞きたい



井上次男議員

移住・定住促進

子育て支援住宅

答 第四次総合計画で明らかに

問 上厚真きらりタウンに建設の子育て支援住宅が予想を上回る応募で好評である、他町と比べ町の人口減少率が低くなっている。

5棟の子育て支援住宅を計画しているが、入居応募が好調であれば次の子育て支援住宅の建設を考える必要があるのではないかと。

地域開発を進めることは移住・定住に繋がり、子育て支援住宅は現政権も「地方創生」政策の施策として明言している。

上厚真かえで団地の北側の空地进行して子育て支援住宅として建設の考えは。

町長 町の人口移動は、平成26年度で4人の減少

に留まっており、移住・定住や子育て支援などの積極的な取り組みの成果と考えている。

子育て支援住宅については即効性があり、効果が期待できるが、上厚真地区は公共の住宅用地として確保されており、厚真市街地と上厚真市街地のバランス、財政等を検討し進めていく考えであります。

上厚真の住宅については、次の総合計画策定の中で明らかにしていきたい。



上厚真かえで団地北側空地

6月定例議会の一般質問を要約してお知らせしております。

詳しく知りたい方は、議会事務局、議会ホームページまたは青少年センター図書室にて会議録を閲覧できます。



問い合わせは議会事務局へ (27-2485)

一般質問 ここが聞きたい



森田正樹議員

文化財保存

郷土資料館設置はいつ

答 文化庁と協議して方向性を考えて行く

問 先人が収集した地域の自然・風土・歴史・民俗など、郷土文化全般にわたる貴重な資料、また、厚幌ダム建設に伴い、埋蔵文化財発掘事業で出土した貴重な考古資料をどう保存し、後世に伝えていくのか。また、旧軽舞小学校を郷土資料館にする考えはあるか、また、資料館という館的なものを条例化して、人を呼ぶ、人を引きつける体制を整える必要があるのでは。

教育長 収蔵してきた民俗資料約6980点を町民の皆さん、また多くの皆さんに公開していく考えです。
郷土資料の恒久的な利

活用をしていくか結論はまだですが、埋蔵文化財と郷土資料の保存と活用
のあり方を場所も含め具



多くの人々を引きつける厚真の歴史（発掘現場）

体的に詰めていきます。また、郷土資料と埋蔵文化の史料の活用、整理は全く性格が異なり、郷土資料は単費で整備し、埋蔵文化財は既存の施設リニユアルの補助が受けられる。調査自体が28年29年度で報告書作成に伴い、今後文化庁と協議の上、情報を収集しながらスムーズにいくような方向性を考えていきたい。

空き家対策

空き家対策条例の策定は

答 必要な措置を講じる

件とそのうち倒壊などの危険性がある空き家が1件で現在の状況をお聞きします。そこで、空き家対策特別措置法が5月26日に全面施行され、自治体の権限が法的に位置づけられました。どのタイミングで条例の制定を考えているか。

町長 今年1月に産業建設常任委員会で事務調査した資料では、非常に倒壊の恐れのある住宅は4棟、生活以外での倉庫の類いで危険な建物が22棟合わせて26棟があり、特に危険な状態ではない空き家を含めると124件存在している。

問 今回、全町を歩かせていただき、空き家が多いと見受けられましたが、昨年の報告では空き家35

本町の対策として、有識者の皆さんと協議し空き家対策の計画を策定し進めていく、あくまでも私有財産であり公権力を持つて処分に至る可能性も出てきますので、非常にデリケートな部分が含まれます。特に条例を制定せずに、必要な措置を講じてまいります。

一般質問 ここが聞きたい



伊藤富志夫議員

起業化支援

既存事業者との兼ね合いは

答 議論を積み上げ審査会で話題にしたい

問 起業化支援の推進にあたって、同地域の同種の事業者との兼ね合いはどう考えているか。その声を聞いているのか。

町長 既にある事業者への配慮が必要ではの質問ですが、町は規制する側ではなく育てていく視点で進めている。既存の事業者と意味での刺激、切磋琢磨する環境が生まれる事を望む。ただ、既存の事業者に心配をかけるような合議制の審査をしている。議論を積み上げ審査会等で話題にしていきたい。

雇用対策

臨時職員の待遇は

答 格付け低いところの見直しを検討したい

問 町の臨時職員の方が非常に多くいるが、学校用職員の待遇について聞きます。用務員は学校職員の一員として大事な職種と考えるのがいいか。また、待遇について経験年数が給料に反映されていないが、なんとかならないか。

教育長 学校用職員の位置付けは、学校の環境を維持するのは今も昔も変わらず大切なもの。ただ、用務員の業務範囲は限られた中で従事していただいている。賃金体系の定め方もあるので一概にそこだけを充実させることは他の方にまで関連してくるのでなかなか難しく、理解いただいて業務として従事していただくよう取り組んでいきたい。

町長 行政コストをいかに適正なものにしていくか、公のサービスを最小の経費で最大の効果を体現していく事が大切だと思ふ。一方、働いている

方の生活もあり正當な報酬を得る、そのバランスをいかにとっていかか、時間をかけて取り組んでいかなければならない。そういう意味では、臨

時職員の格付けとして一番低いところの見直しについても来年に向けて内部で十分検討していきたいと考えている。

部局名	条例定数 (H19年改正)	実人数 (H27・4・1現在)
町長の事務	89人	83人
議会の事務	3人	2人
教育委員会所管	15人	13人
農業委員会の事務	3人	3人
計	110人	101人

形態別	臨時職員	臨時職員（非常勤）	嘱託職員
計	47人	103人	37人
合計（重複者含む述べ人数）	187人		
合計（実人数）	170人		
○臨時職員：一般事務に臨時的に任用される職員			
○臨時職員（非常勤）：不定期・短時間勤務、代替等で任用される職員			
○嘱託職員：専門的知識、技術等を要する職種に任用される職員			



高田芳和議員

一般質問 ここが聞きたい

子育て支援

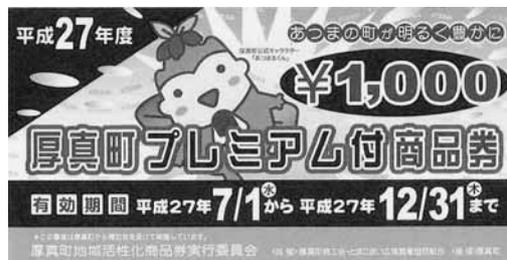
プレミアム付商品券の無料交付を

答 恒常的な安定した制度に取り組み

問 国の地域消費喚起生活支援交付金などを活用し、地域内消費の拡大による地域経済の活性化を図ることを目的とした厚真町プレミアム付商品券、1万円で額面1万2千円の商品券が販売されています。本町は、子育て支援医療費還元事業や保育料還元事業など、他町に比べて子育て世帯に対する充実した支援制度をアピールして、定住・移住を促進しており、その波及効果も期待できますので、義務教育終了前の児童がいる世帯に無料でプレミアム付商品券を交付する考えがないか。

町長 地方創生の先行型の国の交付金を活用して、

町全体として1億円にも達する消費喚起をしようというのが主目的でございまして、子育て世帯の方々の負担を軽減しようという取り組みではありません。子育て支援策は、近隣ではずば抜けた環境ではないかと考えておりまして、今回のプレミアム付商品券をさらに追加発行する予定は現在ありません。臨時的な対応カンフル剤ではなくて、恒常的な安定した制度になるような、そんな取り組みにこれからも力を入れていきたいと考えています。



プレミアム付商品券

議会を傍聴しませんか。

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。
臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。
どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

一般質問 ここが聞きたい



吉岡茂樹議員

高齢者対策

高齢者共同福祉住宅の早期実現を

答 設計予算を早ければ27年
下期に提案したい

問 本町でも、高齢化率が約35・8%と急速に進む中で、高齢の単身者や老々介護と言われる夫婦のみの世帯が増加しており、介護・医療と連携して高齢者を支援するサービスを提供する住宅を確保する観点から高齢者の期待も大きい。

又、私が過去にも質問しているが、その時の答弁を総括すると「平成26年下期に予算計上、平成27年度には、形が見えてくる」かのような内容で答弁している。過去の答弁内容を踏まえた町長の基本的な考えは。

町長 これまで、答弁した内容で取り進めてきた

が、財源確保とスケジュールが合わずにずれ込んだ事は、お詫び申し上げます。

高齢者共同福祉住宅の必要性については、議員の考え方と私も全く一致しております。早急に高齢者の福祉住宅を建設致したいと考えている。

早ければ本年度、素案をお示しし、9月、10月にあらかたの方針を打ち出したい。皆様のご理解を頂きますと、設計予算を27年度下期には、提案したい。

農業振興対策

「オール厚真」で取組み、行動を
起こす時期ではないか

答 町民を代表してしかるべき行動をしていく



J Aとまこまい広域にT P P反対の垂れ幕

問 本年4月に、首相が訪米、オバマ大統領と会談しTPP交渉について「日米協議の前進がTPP全体の妥結の推進力であり、あらためて両国が交渉を主導し早期妥結に導いていくとの認識で一致」。これまでの日米2国間協議での大きな進展を歓迎し早期妥結に向けた協力を再確認するとして共同声明を発表した。国政レベルでの判断とは言いがくても、「オール厚真」としての取組み、行動を起こす時期だと思いが、町長の考えは。

町長 農業関係団体も含めて情報を適切に収集し、町民挙げて十分な知識、十分な情報の共有など、他町と比較すると非常に厚真町は高いほうだと考えている。早い段階で町民の皆さんに情報共有をしていただく活動をしてきた。町民のみならずの総意として、TPPに対する反対、要望を、きちんと町民を代表してしかるべき行動をしていく。



下司義之議員

一般質問 ここが聞きたい

健康福祉

上厚真に厚南地区の健康増進拠点設置を

答 厚南会館のサテライト的活用を考えている



健康増進拠点として期待される厚南会館

問 町民の健康増進を目的に、総合ケアセンターゆくりの機能訓練室は充実したトレーニング機器が設置されていて、指導員の指導の成果もありその効果が表れているが、厚南地区で人口が集中する上厚真にも健康増進拠点を設け、エアロバイクなど活用率の高い機器を設置できないか。



「ゆくり」のエアロバイク

町長 健康増進施設と言っても非常に費用が掛かり、町内に複数箇所設置するのは難しいが、厚南地区にも厚南会館という住民が自由に使える施設があるので、うまく活用して、健康増進のための各種事業をサテライト的に提供することも可能ではないかと考えている。必要な機材は、おいおいそろえていかなければならないと思うが、ゆくりのような十分な設備、人材、体制を提供するのは現段階では難しい。

問 以前であれば、死後はそれぞれのお墓に入るのが普通の考え方であったが、最近はお墓の管理など、社会情勢の変化もあり合同墓に安置されることを希望される方も増えてきている。本町においてもそろそろ合同墓設置の検討を始める時期に来ていると思うが。

町長 合同墓については、当然小規模のものを作るということにはならぬ。問 サイクルツーリズムの推進を。答 グリーンツーリズムの中で考えていく。

合同墓

合同墓の設置を考える時期では

答 ニーズを検証しなければ進められない

で、広い意味でニーズを十分に検証して行く作業をしながら取組みをしていかなければならないと思っている。安易に特定の方の声を受けてさっそく作りましようということにならないのは、税金を使う行政の限界と想っている。納税者の理解が進むという意味のニーズ、そういった状況を十分に慎重に調査し対応していきたい。

(用語説明)

合同墓

個々の墓ではなく、石碑や供養塔などの広いスペースなどに、共同で骨壺を納めるタイプのお墓で、この15年ぐらいで全国に広まった。永代供養墓、共同墓地、共同型墓地などと呼ばれることもある。

(その他の質問)

問 サイクルツーリズムの推進を。

答 グリーンツーリズムの中で考えていく。

意見書案第一号

安全保障関連法案の徹底審議と国民の合意なしに成立させないよう求める意見書

提出者

伊藤富志夫

賛成者

高田芳和

下司義之

安全保障関連法案の徹底審議と国民の合意なしに成立させないよう求める意見書

安倍政権は、5月14日に国民多数の反対の声を無視して、集団的自衛権の行使容認などを盛り込んだ11本の安全保障関連法案を閣議決定しました。閣議決定された法案は、重大な問題点があります。第一に、アメリカが世界のどこかであれ、戦争に乗り出した際に、自衛隊が従来「戦闘地域」まで行って軍事支援を行うようになります。第二に、

形式上「停戦合意」が作られていないもの、なお戦乱が続いているような地域に自衛隊を派遣し、治安維持活動などに取り組めるようになり、3500人も戦死者を出したアフガニスタンのISAF(国際治安支援部隊)などへの参加の道が開かれることとなります。第三に、日本がどこからも攻撃されていなくても、集団的自衛権を発動し、アメリカの海外での戦争に、自衛隊が参戦し、武力行使に乗り出すこととなります。

貫して、「日本に対する武力攻撃がない下で武力の行使は許されない」は「海外での武力の行使は許されない」というものでした。これを一内閣の判断で覆すことは立憲主義に反するものです。よって、国及び政府においては、集団的自衛権の行使容認などを盛り込んだ安全保障関連法案の徹底審議を求めるとともに、国民への十分な説明がなく、広くその合意が得られない場合は成立させないよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月 日

提出先 衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
防衛大臣

渡部孝樹

反対討論

井上次男

安倍政権は国民多数の反対の声を無視していると言われているが、今、審議している最中であり決定しているわけではない。安全保障関連法案及び集団的自衛権がなぜ生まれたかを考えると、中国が尖閣問題・南シナ海における基地等、さらに韓国との竹島問題がここ数年の内に浮上したからではないかと考えている。これらは国民の総意で決めていくもので、決していけない事についての意見書に反対する。

木本清登

戦後、我が国は戦勝国の外国人の作成した憲法をこの70年という間、世界で最も優秀な憲法9条の戦争放棄と言う条文を誇りに改定を禁句のように遵守した。

しかし、この憲法の中には理論的と言う名の元で優秀な日本文化をおぎなりにしている面もあり、

現在こそ日本人の手で日本人の為の憲法作成が必要。しかし、そのハードルは非常に高く厳しく長い時間を要する。

近年、民主党政権時での足下を見られた外交が近隣諸国の外交戦略に拍車を掛け東アジア安全保障圏確立が危ぶまれてきて、我が国の国土にまで影響を及ぼす事態が出ている。また、北による核兵器の脅威、イスラム国と言われる組織が活発な活動を展開する以上、世界の安全と平和を求める我が国の責任と使命として、密接な関係にある他国が武力攻撃され日本の存立が脅かされ、国民の生命、自由、幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態が発生の際、行使できる法案の整備は早急に必要。

しかし、国の政策に対して地方が声を上げる事も大切な要因ではあるが、政権与党の「安全保障法整備に関する与党協議会」が真剣に真摯に長時間を掛けて協議を重ね、

それが閣議決定された法案を拙速に不必要な想定外な展開盛り込み意見を求めるべきではない。本意見書に反対する。

吉岡茂樹

私なりに現状の世界規模で起きている爆発的な人口問題があると思う。2011年11月国連は、世界の人口が70億人に達したとの推計を発表した。これは、人類史上かつてない超新記録であり、又、将来の人口増加として10年後には、81億人、35年後には、約90億人と予測している専門家がいます。

これらを分析すると、世界の人口は、史上類を見ない爆発的な増加が続き、同時に開発途上国の著しい経済発展に伴い、富裕層が増加しつつある。地球規模で増大する人口と富裕層の増加は、食料に限らず化石燃料や鉱物資源などの需要は飛躍的に高まり、地球食糧の競争になる。こうなる

食料・資源を奪い合う時代が来るのは当然と見るべきであると思われる。

現に、13億の人口を有し、経済発展に伴い富裕層が急増する中国の資源需要が爆発的に増大している事実がある。

中国は、右肩上がりの経済発展を維持し、13億人を養うために膨大な資源を獲得する必要がある、政権を維持するうえで極めて重い課題であり、現に、尖閣諸島周辺海域に石油資源の埋蔵が確認されるや、なりふり構わず、自国領土だと主張するのは、このような背景があり、国際法を無視し、粗暴な振る舞いが現実にある。

日本は、戦後70年間、外国で自衛隊が一発の弾丸を撃つことが無い事は、非常に喜ばしい事であり、今後もそうでありたいと願っているが、人口が急激に増加すると、各国、内政はもとより、世界全体が不安定化し、統治が困難となり、戦争

や内戦、テロが起りやすくなるのは、当然であると考える。その様な中で、今、国会で論議されている「安全保障関連法案」について、私の持っている知識では、判断しきれないということを出に反対する。

木戸嘉則

攻撃国及び組織の意思、能力・事態の発生場所、規範、対応、推移、日本に戦禍が及ぶ確実性、日本国民の被害の深刻さ、重大さを総合的に判断し、密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、日本の存立が脅かされる。国民の生命や自由幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険が起こる場合、それに対する法案の整備は早急に必要なことであり、本意見書案には反対いたします。

「意見書案採決の結果」

賛成3、反対7（議長を除く）賛成少数で否決されました。

議員研修レポート

北海道町村議会議員研修会に参加して

議会閉会中に行われた研修会を紹介

森田議員



平成27年度「北海道町村議会議員研修会」が7月7日、札幌コンベンションセンターで開かれ、厚真町議会議員全員が出席した。講師は、中央大学名誉教授、今村都南雄氏。テレビ朝日コメンテーターとして外交・政治経済評論家で活躍の川村晃司氏のお二人であった。

地方議会を取り巻く最近の動向 今村氏

第一次地方分権改革から20年、今では安倍内閣の地方創生の中で地方自治主権に改革が進められているが、なぜ地方分権改革なのか、それは5つ①中央集権システムの制度疲労、②変動する国際社会への対応、③東京一極集中の是正、④個性豊かな地域社会の形成、⑤高齢社会・少子化社会への対応が今後さらなる地方自治、地方主権を進め

なければならない。

急激な人口減少時代に直面する町村議会の使命

「まち・ひと・しごと創生法」第一条「我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくため」とあるがそれに向けた5つの政策推進課題①人口急減・超高齢化に対する危機意識を国民全体で共有し、50年後に1億人程度の安定した人工構造を保持することを目指す。②経済を世界に開き、絶え間なくイノベーションを起こし、高付加価値な財・サービスを生み出すことを通じて、成長を



続ける。③年齢、性別に関わらず、意欲、個性や能力に応じて様々な形で活躍できる社会、制度、仕組みを構築する。④個性を活かした地域戦略と地域における「集約・活性化」を進め、働き場所があつて暮らし続けられる地域社会をつくる。⑤基盤的な制度、文化、公共心など社会を支えている土台を大切にす。この望ましい未来像とそれに至るまでの道筋を共有し、現在必要となる取組みについて、優先度に留意しながら、地方自治体として推進していくことが重要である。

行政効果を確認

平成27年度議会議員町内行政視察

平成26年度予算の効果と厚幌ダム工事状況
今年の作況等の現地調査を行いました。

厚幌ダム建設工事現場



畑作物生育状況（共和）



バーベキューハウス（新町）



「しゃべる」豆腐製造機



水稻生育状況（宇隆）



富里地区取水堰建設工事

古民家再生工事（豊沢）



6月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成27年5月8日（金）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
選挙第1号	厚真町議会議長の選挙	
選挙第2号	厚真町議会副議長の選挙	
選挙第3号	胆振東部消防組合議会議員の選挙	
選挙第4号	安平・厚真行政事務組合議会議員の選挙	
選挙第5号	胆振東部日高西部衛生組合議会議員の選挙	
同意第1号	厚真町監査委員の選任	賛成全員
議案第1号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	賛成多数
	反対者1名（伊藤議員）	
議案第3号	平成27年度厚真町一般会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第4号	平成27年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員

平成27年6月11日（木）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚南地区認定こども園建設工事請負契約の締結	賛成全員
議案第2号	厚南地区認定こども園電気設備工事請負契約の締結	賛成全員
議案第3号	厚南地区認定こども園機械設備工事請負契約の締結	賛成全員
議案第4号	厚南地区認定こども園・児童会館造成工事請負契約の締結	賛成全員
議案第5号	町道新町フォーラム線道路改良工事（軟弱地盤改良）請負契約の締結	賛成全員
議案第6号	厚真中学校・厚南中学校屋体天井改修工事請負契約の締結	賛成全員
議案第7号	富里地区沈砂池建設工事請負契約の締結	賛成全員
議案第8号	町有財産の貸付についての議決の一部変更	賛成全員
議案第9号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定	賛成全員
議案第10号	平成27年度厚真町一般会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第11号	平成27年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第1号）、介護サービス事業勘定補正予算（第1号））	賛成全員
議案第12号	平成27年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
承認第1号	専決処分承認（平成26年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号））	賛成全員
意見書案 第1号	安全保障関連法案の徹底審議と国民の合意なしに成立させないように求める意見書	否決 (賛成少数)
	反対者7名（森田議員、吉岡議員、大捕議員、木本議員、三國議員、井上議員、木戸議員）	

平成27年6月23日（火）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	富里地区浄水場・配水池建設工事請負契約の締結	賛成全員

第3回臨時会

5月8日開会

■厚真町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、厚真町税条例の一部が改正されました。

■厚真町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令及び国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令の一部改正に伴い、厚真町国民健康保険条例の一部が改正されました。

■一般会計補正予算

児童会館整備事業2億7865万円、認定こども園整備事業5億5050万円などが追加され、予算総額は68億7935万円になりました。

■簡易水道事業特別会計補正予算

統合簡易水道事業において、平成27・28年度

2力年を要する浄水場及び配水池の建設工事を一括発注するため、次のとおり債務負担行為が議決されました。

(浄水場建設・配水池建設工事)

・期間

平成28年度まで

・限度額

11億7230万円

(浄水場建設・配水池建設工事監理委託)

・期間

平成28年度まで

・限度額

1100万円

第4回臨時会

6月23日開会

■富里地区浄水場・配水池建設工事請負契約の締結

- ・契約の方法
- ・指名競争入札
- ・契約金額
- 14億400万円
- ・契約の相手方



4月

- 3日 転入教職員歓迎式
- 6日 厚南中学校入学式
- 7日 上厚真、厚真中央小学校、厚真中学校入学式
- 8日 議会広報特別委員会
- 9日 北海道厚真高等学校入学式
- 14日 とまこまい広域農業協同組合通常総代会
- 16日 議会広報特別委員会、厚真町自警団連合会総会、厚真神社春季大祭
- 27日 現金出納例月検査

5月

- 8日 第3回臨時会、全員協議会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会
- 12日 厚真ダム取水式
- 14日 厚真町商工会通常総会
- 15日 太陽光発電所新設工事竣工式
- 20日 胆振東部日高西部衛生組合臨時議会
- 21日 胆振東部消防組合臨時議会、安平・厚真行政事務組合臨時議会
- 22日 定期監査（保育所）、不納欠損処理事務監査
- 25日 管内町村等監査委員協議会総会
- 26日 防犯協会総会
- 27日 現金出納例月検査
- 28日 むかわ町議会視察来町、白老町議会視察来町
- 29日 新任議員研修会
- 30日 厚南、厚真中学校運動会

6月

- 2日 北海道新幹線日胆地域戦略会議総会
- 3日 胆振管内町村議会議長会総会
- 4日 苫小牧地方総合開発期成会総会
- 5日 議会運営委員会、議会広報特別委員会
- 6日 前沢牛まつり（～7日）
- 11日 第2回定例会、議員協議会
- 13日 イオン環境財団植樹会
- 14日 厚真中央、上厚真小学校運動会
- 15日 交通安全協会定期総会
- 17日 北海道町村議会議長会定期総会
- 20日 田舎まつり（～21日）
- 21日 豊穰祈願祭
- 23日 第4回臨時会、総合計画策定に関する調査特別委員会
- 25日 現金出納例月検査
- 29日 定期監査（工事監査）（～30日）

岩倉・丸斗・丸博野沢特定建設工事共同企業体代表者
岩倉建設（株） 苫小牧本店
構成員
(株) 丸斗工業・(株) 丸博野沢組
■総合計画策定に関する調査特別委員会の設置
第4次総合計画策定に関する調査及び審査のため全議員構成で設置

厚幌ダム建設も平成29年に湛水試験、平成30年供用開始を目前に、大詰めまで建設が進められております。
現在建設に携わっている方は300人以上とも言われ、6月に行



われた最大のイベント「田舎まつり」でも建設関係者の方が浴衣を身にまとい、田舎まつり音頭パレードに参加されました。また多くの町民の皆様、2日間大変ご苦労様でした。7月に入って猛暑が続き、気温約28度と上昇、野外活動での熱中症対策は涼しい服装、日陰・日傘・帽子、水分・塩分補給が大切です。

稲作・畑等も水が不可欠です。順調な育成を願いながらも夏本番を迎えます。今年も豊穰の秋を迎えられるよう願っております。
(広報委員 森田正樹)